

議会報告 54号

甲府市 市議会議員
佐野 ひろひと



2016年8月14日発行
・発行者：佐野 弘仁
・住所：甲府市伊勢2丁目15-26
・TEL/FAX：055-235-0190

メール：koufu_koumei_sano@yahoo.co.jp
フェイスBOOK：<http://www.facebook.com/hirohito.sano.1>
ブログ：http://blogs.yahoo.co.jp/sano_hirohito
HP：<http://www.komei.or.jp/km/kofu-sano-hirohito/>

皆様のお声を戴き、市政推進を実現して参ります！



市政推進、施策前進に向け、 動き、働きます！

まだまだ暑さの続く猛暑の夏、如何お過ごしでしょうか。昨年は6月に市政一般質問、12月に会派代表質問と、2回の甲府市議会本会議での発言をさせていただきました。

また、今年4月には甲府市総合市民会館にて、例年開催しております「議会報告会」を、多数の地元地域の方々にご出席戴き、これまでの実績や、日頃の活動についてのご報告を行わせて頂きました。心より感謝申し上げます。

これからも、我が地域と甲府市全域が、住み良い街となるように、皆様の声の重みを常に忘れず、政策提言を市政壇上で行い、更なる努力をして、議員としての責務を全うして参ります。

これからも皆さんと共に語り合い「小さな声を聞く力」を高め、政策実現力、議員力を高めて参ります。

皆様の声を市政へと繋げ、 市政推進が出来ました！

4、甲府市防犯街路灯 LED化前倒しで更なる補助の拡大

佐野質問 2013年 9月本会議 9月10日 (一般質問)

本市の防犯街路灯の20,000灯強をLED化する事による大幅なCo2削減効果は計り知れず、更に設備費用対効果がそれぞれ劇的に見込まれ、自治会からのニーズ、市民要望も非常に高い問題であります。防犯街路灯LED化に資する大幅な補助拡大を、より一層充当して戴きたいと考えますが当局の御見解を伺います。

甲府市 (答弁)

金額的には相当額を5年間の間に注ぎ込んで、
全てかえていこうというふうな考え方でおります。

- 2014年度から、**5か年計画、4億の予算にて2万余灯のLED化補助計画実施が決定!**
- 2016年8月現在9,000灯余以上の申請により、**5年計画が前倒しで達成できる状況で進捗中。**

2013年9月11日付(抜粋)
新聞掲載記事

防犯街路灯LED化 自治会補助額を拡大 市、1灯の上限2万円

10日に開かれた市議会9月定例会の一般質問で、佐野弘仁氏(公明党)の質問に答え、市政策課と市民対話課によると、自治会が設置・管理する市内の防犯街路灯は約2万1千灯。このうち、数百灯でLED化されているが、約2万灯が蛍光灯を使用しているという。

市担当者は「予算や灯数など各自治体の状況を踏まえた上で可能な限り対応し、来年度以降5年間で集中的に交換していきたくと話している。

2015年7月21日付
公明新聞記事掲載記事



街路灯のLED化進み、計画前倒しへ
山梨・甲府市
山梨県甲府市では2014年度から、自治会が防犯街路灯をLED化する際の

費用補助限度額を、それまでの1灯当たり1万4000円から2万円に引き上げ、数量制限も撤廃したことから設置が加速している【写真】。

これは公明党の佐野弘仁市議が13年の9月定例会一般質問で、LED街路灯の設置を要望する自治会の声を「街灯に付く虫も減った」環境保全の観点から補助拡大など積極的な支援を提唱、市側の取り組みを促したことによるもの。14年度に4652灯を交換。今年度は6月末までに3500灯の申請があった。約1万8000灯の整備を5年計画で進めてきたが、市によると5年を待たず前倒しできる見込み。地域住民から「夜道が明るくなり、防犯面で安心」などの声が寄せられ、好評を博している。

1、選挙公約達成「市街地空き店舗入居対策」実施決定

佐野 質問 2015年6月本会議 6月18日（一般質問）
2015年12月本会議 12月8日（代表質問）

◎ 2015年11月施行となった中心街へのエリア制定について、
宝飾業界の社長さんから「**宝石の街甲府が寂しい**」とのお声から
3年追いかけて推進が出来たこと、私の今期マニフェストでも
あります。

・ジュエリー関連店舗を甲府市中心街に 集積させるための拠点店舗のリノベーション及び 出展者の選定業務 | 宝飾が決定推進由

公 明 新 聞 2016年(平成28年)7月12日 (火曜日) 日刊

いま甲府が本当に
面白い
「甲府のブランド宝石」と
「若い力」が結集されて、
中心市街地活性化が
進展し始めている！
「若者の力」これこそ
大事な、
「活気ある街の力」と
思います。

この政策推進を進める
きっかけとなったのは、
3年前より中心市街地
活性化の依頼を 戴いた
市民相談からです。

よみがえれ「宝石の街」



風間社長の市民相談をきっかけに、「宝石の街」の活性化に奮闘する佐野市議員

山梨県では、古くは貞観 められ宝飾屋が本格化
な水晶が産出され、江戸時 ジュエリーの一大産地とな
代表以降は優れた水晶研 づっている。とりわけ県庁所
磨と黄金工芸の技術が認 在地・甲府市には、県立の
よみがえれ。宝石の街！ 山梨県甲府市で
は、宝飾関連施設を中心市街地の空き店舗に出
店する際に費用を助成したり、若手ジュエリー
作家らをサポートする事業などが今年4月から動き

地域資源生かし市活性化へ

出し、街に活気が始めている。地域資源であ
る「宝石」を核にした市活性化の取り組みが導
入れた背景には、1件の市民相談から始まっ
た公明市議の奮闘があった。

無料で販売スペース提供し 若手ジュエリー作家を支援 空き店舗使った出店に助成も

ジュエリー・ミュージアム
や宝石美術専門学校など
「宝石の街」を象徴する施
設があり、宝飾関連業も
多数存在している。しかし、
バブル崩壊以降、その活気
が失われているという。
同市で三十数年にわたり
宝石店を営むクワン宝石
の風間社長は5年前こ
のまま「宝石の街」が活気
を失っているのは寂しい。
宝石は甲府の貴重な地場産
業。街の活性化につなぐ不
可欠な地域資源だとのや
むにやまれぬ思いを、公明
党の野田市長に相談し
た。

佐野市議は早速、担当課
に現場の声を耳を傾けるよ
う促すとともに、2012
年3月の予算特別委員会
で

取り上げて以来、計6回に
わたる議会質問を通じ、「宝
石」を核にした、街の活性
化につながる諸施策を提
し推進してきた。

空き店舗が点在する中心
市街地に、若手ジュエリー
作家らに門を開き宝飾開
連施設を出店しやすとした
のも、その一つ。空き店舗
解消・雇用創出のみならず、
街の活性化、ひいては定住
化への期待は高まる。

今年4月、市中心部の空
き店舗を市が改装・整備し

見に立ち寄ってくださる方
が少しずつ増え、接客も楽
しくなってきたとうれし
そうに語っていた。

また、甲府ブランド産品
として同市が認定してい
る「甲府之証」の対象に、ジ
ュエリーを加えたのも佐野
市議の提案がきっかけだ。
実際に、「甲府之証」認定
を受けたジュエリーを扱う

市民相談を機に公明市議が奮闘

佐野市議はこのほど、風
間社長にこれまでの経過を
報告し懇談。風間氏が「街
の活性化への道程は始まっ
たばかりだが、人の流れは
確かに増えてきたようだ」
と、公明議員は街のために当
面に「動いてくれる」と謝
意を示すと、佐野市議はさ
まざま施策と行政の果敢
な取り組み、現場の思いを
一つに、「宝石の街が
よみがえり起爆剤になり
たい」と力を込めた。



オープンした
チャレンジの
場が、甲府ク
ラフトラボ」
「写真上」。

若手ジュエリー
デザイナー
が利用しやすくなるよう
ジュエリーマップの作製を
市側に要請。作製されるこ
とになった。

佐野市議は、こうした宝
飾関連の施設を市民や観光
客が利用しやすくなるよう
ジュエリーマップの作製を
市側に要請。作製されるこ
とになった。

店「同ト」では、「昔が
集まり、人気の商品に、店
周辺の人通りも増えてき
ましたよ」と笑顔を見せ
た。

2、「子どもの貧困対策」の推進を実現

佐野 質問 2011年9月本会議 9月9日（一般質問）
2015年6月本会議 6月8日（代表質問）

◎ 子どもの貧困対策として、
「一部、断片的では無い、総合的な子どもの貧困対策の推進」

- ・2016年4月から、子どもの学習支援の実施！
- ・甲府市、スクールソーシャルワーカー雇用の検討を開始！

学習支援事業チラシ
対象者に5教科を中心に
個別指導を行う。
子どもの貧困対策の
スタートとなる。

平成28年度よりスタート！！ 生活困窮世帯の生徒への学習支援事業

1 内容	生徒一人ひとりに合わせた学習支援を行います。
2 対象者	市内在住の生活保護受給世帯又は就学援助受給世帯等の 中学1年生から3年生まで 定員10人程度（3年生を優先） ※申込み時、すでに定員に達している場合は待機扱いとさせていただきますのでご了承ください。
3 場所	生徒の自宅に訪問して行います。
4 日時	平日の午後4時～午後6時（場合によっては変更可能）
5 教科・体制	国語・数学・理科・社会・英語等、生徒が希望する教科を中心に個別指導します。
6 指導者	甲府市嘱託職員（教員OBの就学支援相談員）
7 費用	無料
8 申込先	甲府市役所 福祉保健部 生活福祉課 生活支援係 学習支援担当まで

事前にご連絡のうえ、市役所までおいでください。

【問い合わせ先】

甲府市役所 生活福祉課 生活支援係 学習支援担当まで
(055-237-5742)

所在地：甲府市丸の内1-18-1 甲府市役所3F

3、「子ども子育て会議」で、お母さん方の声を市政に反映

佐野 質問 2013年3月本会議 3月11日（代表質問）
子育て家庭のニーズを調査するための「地方版子ども子育て会議」の置について、当局のお考えを御示し下さい。

甲府市子ども・子育て支援事業計画の策定・進捗状況の管理など
学識経験者・関係団体等の代表から意見を求める会議の開催。

- ・「子ども子育て会議」2013年8月29日スタートし、
現在までに10回の定例で行われ、有識者の
先生方と当事者のお母さんが2名入り、
年次に開催された。子ども子育てに関する
ニーズ調査は 2013年11月1日～22日に実施。
- ・「甲府市子ども・子育て支援事業計画」への反映。
- ・甲府市新設部署「子ども未来部」新設への反映。

5、甲府市総合市民会館 第五回議会報告会の開催！ご報告

佐野質問 2016年4月9日 甲府市総合市民会館
3F 大会議室にて開催。

当日 過日4月9日(土)地元伊勢地区自治会連合会、住吉地区自治会連合会、両自治会連合会長と共に、地元自治会役員の皆さま、地域、支持者の方々のご出席を頂き、甲府市総合市民会館、3階大会議室に於いて、佐野弘仁議会報告会を開催させて頂きました。

当日は総勢150名の皆様方にご参集を頂き、立ち見も出るなか、大盛況で開催できましたこと、まずもって心より御礼申し上げます。報告会冒頭には地元地区二つの自治会連合会長にご挨拶を頂き、引き続いて、議会報告会へと移らさせて頂きました。

議会報告会の報告内容は、以下の通りです。

- ①甲府市議会の会期など、議会運営について。
- ②議員の責務について。今期での実績(要旨)



・質問はしっかりと調査し、対案と項目を詳細で示し、当局と論議するものでなければならない筈です。今は地方創生を急務にして、断行しなければならない時、耳に心地よい理想論を掲げる時代では無くなっています。

そして市民との約束は、議員の責任として、今期施策推進の「項目」は「何と何を具体的に進める」のか？を明示し、数値目標を含め『はっきり示す』ことが「公約」の意味するところだとも考えます。皆さんには、これからもしっかりと進めて行くことを御伝えしました。

6、地方から国へ！ネットワークの力。公明党の面目躍如！



2015年6月12日
衆議院会館にて

山梨県 後藤斎 知事から公明党への協力要請として、平成28年度国の施策及び予算に関する提案・要望に係る説明会が井上義久衆議院議員事務所にて行われた。

県からは、山梨県知事及び、知事政策局長、東京事務所長が出席
公明党からは井上義久党幹事長及び、
党東京方面副本部長

高木 美智代(衆議院議員)、
山梨県本部 顧問

平木 大作 (参議院議員)、
党県本部代表

安本 美紀(県議会議員)、
党県本部幹事会会長

兵道 顕司(甲府市議会議員)

と共に、
国交省関連への 要望である、高速
自動車国道、地域高規格道路等の
整備促進について、観光開発に
ついての要望を重点的に受けた。

